

調査概要書

2023年11月20日

株式会社 パスコ

1 調査名称

(仮称) 第2回久慈市沖洋上風力発電事業に係る共同調査 (風況観測)

2 工期

2024年5月～2026年3月予定

3 背景・目的

久慈市沖海域においては、2018年度より洋上風力発電に係るゾーニングを進め、その後、2021年9月に再エネ海域利用法の促進区域指定に向けた一定の準備段階に進んでいる区域として整理されている。また、2022年からは複数の民間発電事業者の出資による共同調査 (洋上及び陸上での年間風況観測) を実施した。

本調査は、久慈市沖において更なる風況調査を実施し、浮体式洋上風力発電の事業化検討に資するデータを得ることを目的とする。

4 調査海域

岩手県久慈市沖合 領海内範囲

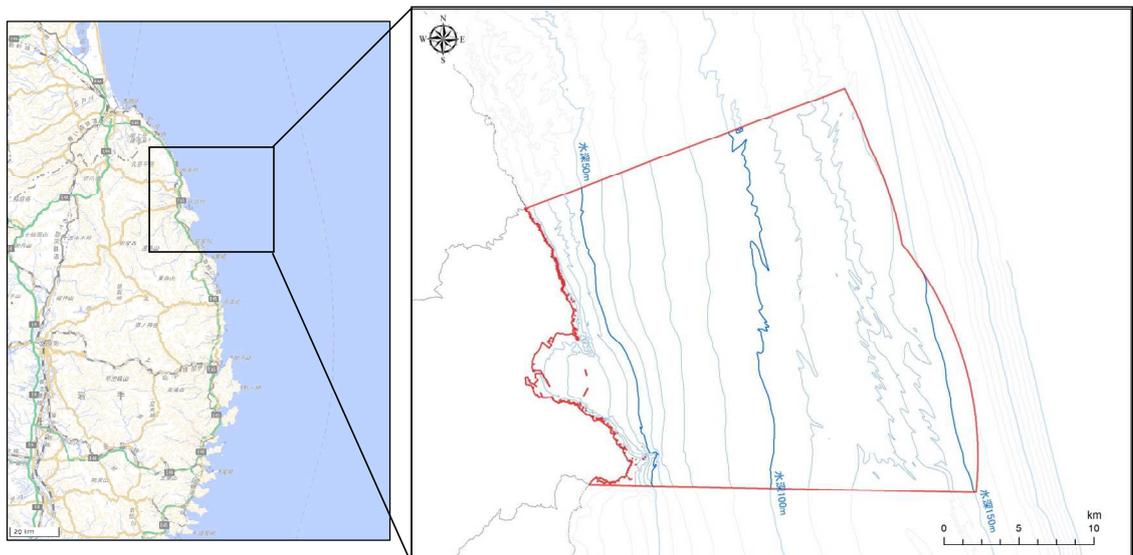


図1. 調査範囲

5 調査内容

調査内容は風況調査を予定する。風況調査内容は、表1.①～③の手法のいずれかを想定し、参加企業および各関係機関との協議のうえ決定する。

表1. 調査概要一覧表

	①FLS+DSL+陸上観測	②DSL+陸上観測	③FLS+陸上観測
現地調査内容	<ul style="list-style-type: none"> ・洋上風況の年間観測(事前SAT検証含む) デュアルキャングライダー(DSL) フローティングライダー(FLS) ・陸上風況の年間観測 風況マスト観測、鉛直ライダー 	<ul style="list-style-type: none"> ・洋上風況の年間観測 デュアルキャングライダー(DSL) ・陸上風況の年間観測 風況マスト観測、鉛直ライダー 	<ul style="list-style-type: none"> ・洋上沖合風況の年間観測 フローティングライダー(FLS) ・陸上風況の年間観測 風況マスト観測、鉛直ライダー
想定地点	(協議のうえ、決定)	(協議のうえ、決定)	(協議のうえ、決定)
取得成果	<ul style="list-style-type: none"> ・年間観測データ ・乱流強度の取得(沖合3～4km地点) ・FLS乱流強度の推計(現行調査成果の活用) ・エネルギー収量評価 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間観測データ ・乱流強度の取得(沖合3～4km地点) ・エネルギー収量評価 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間観測データ ・エネルギー収量評価
調査の狙い	洋上の乱流強度をDSLとFLSで同時観測することで現行調査成果と比較し、FLSによる乱流強度の把握を検討する。成果をもって、有識者や認証機関への意見交換のデータとして活用する。(※②メニューよりFLSの乱入強度把握に有意なデータが取得可能)	洋上の乱流強度をDSL観測により把握する。場合によっては、洋上における乱流強度の水平方向(2km,3km,4km)の差を検証する。成果をもって、有識者や認証機関への意見交換のデータとして活用する。	現行調査の成果に引き続き、洋上における風況実測値の蓄積を実施する。また、R4調査と異なる陸上観測点による洋上風況解析を比較し検証する。